

令和2年度仙台市図書館事業報告書(案)

～仙台市図書館振興計画(第二次)に基づく事業の実施状況～

令和3年8月

教育局市民図書館

目 次

方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

- (1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます…………… 1
【教養や楽しみとしてのニーズに応え、生涯を通じた学びを支えるサービスの提供】
【資料を介在とした地域社会の中での落ち着いた居場所としての機能と新たな活力を生み出す場づくり】
- (2) 課題解決に取り組む市民を応援します …………… 2
【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】
【レファレンス機能の充実】
【課題解決型情報支援サービスの充実】
【地域の専門機関との連携】
- (3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります…………… 3
【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】
【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】
【様々なネットワークへの参加連携】
- (4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます…………… 4
【地域情報の蓄積・継承・発信】
【市民と共に進める仙台に関する情報の発掘や発信】
【震災関連資料の継続的収集と活用】
- (5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます…………… 5
【市内大学との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

方向性 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

- (1)乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します…………… 6
【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】
【読書のきっかけづくりや継続していくための小学生向けの読書支援の取り組み】
- (2)障害のある子どもの状況にあったサービスを提供します…………… 7
【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】
【関係機関との連携を強化し、ニーズに応じた取り組み】
【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】
- (3)ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります…………… 7
【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】
【中高生向け広報の強化】
【中高生による図書館サポーターの育成】
- (4)学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します…………… 9
【子どもの学年に応じた利用しやすい形での資料の提供】
【学校との連携を強化し、協働による事業の拡充】
- (5)家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます… 10
【子供図書室を核とした地域における子ども読書活動の支援】
【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等地域施設の支援】
【地域のボランティア育成と活動支援】
【家読^{うちどく}をすすめる取組】

方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

- (1)どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします…………… 12
【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】
【分室、移動図書館サービスの再編等】
- (2)誰もが使いやすい図書館サービスをめざします…………… 12
【高齢者サービスの充実】
【障害のある人へのサービスの充実】
【外国人が使いやすいサービスの充実】

方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

(1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います 14
【計画的な資料の収集・保存・活用／分担収集の推進と収蔵スペースの確保】

(2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます 14
【図書館サービスの広報、図書館像の共有】
【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民協働による図書館づくり】

(3) 図書館資源を適正に配分し、有効に活用します 15
【システムやサービスのあり方の見直し】
【資料管理の効果的なあり方の検討】
【指定管理館のあり方の検討】

(4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います 15
【継続した事業評価の実施／市民による評価や意見の活用】

(5) 図書館職員の資質の向上に努めます 16
【出版文化の状況や利用者の動向を踏まえて選書を行える職員の養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】
【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供のための職員のスキルアップ】

方向性ごとの課題・改善策 17

凡例

- ◎ 新 ……全館で実施した新規事業
- ◎ 拡 ……全館で実施した拡充事業
- ◎ 重 ……全館で実施した重点事業
- 新規 ……各館で実施した新規事業
- 拡充 ……各館で実施した拡充事業

施策 (1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます

令和2年度実施状況

【教養や楽しみとしてのニーズに応え、生涯を通じた学びを支えるサービスの提供】

○様々な本や情報と出会うきっかけとなる資料(一般書、児童書、視聴覚資料)の案内等を発行した。

一般向け図書案内	「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新刊案内」(広瀬) 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」(榴岡) 「あなたのおすすめ本を教えてください」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「Choice of Books」(太白) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉) 「本のいずみ」(泉)
児童図書案内	「家読におすすめの本」 「BOOK TREE」 「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」 他 各館でテーマ別図書案内等 12 種類を発行
中高生向け図書案内	「いじめ・命に向き合う本」 「10代のためのこころのサブリ」(全館) 「YAnews」(広瀬) 「FUKUDOKU Station(福読駅) 10代向けブックリスト 2021」(広瀬) 「YA 通信 すぱろーずペーパー」(泉)
新着 AV 資料案内	「AV 新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「まんまるシアター」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
広報紙等	「郷土のかぜ」(市民) 「広瀬図書館だより」(広瀬) 「榴岡図書館だより」(榴岡) 「上映会通信」(若林) 「ととといずみ」(泉) 「子供図書室通信」(泉)
その他	行政支援のための新着図書案内の発行(市民・宮城野) 「福袋の本リスト(一般向け・児童向け)」(宮城野) 「大活字本所蔵リスト」(泉)

○文字・活字文化に親しみ、読書活動を推進するための展示を実施した。

- * 毎月のテーマ展示を行うほか、随時話題の資料の展示コーナーを設け、資料選びの参考となるよう配慮した。(全館)
- * 「追悼コーナー」「芥川賞・直木賞受賞コーナー」等を報道後迅速に設置した。(全館)
- * 秋の子ども読書フェスティバル期間中に関連のテーマ別展示を行った。(全館)
- * 仙台文学館特別展「ふつうがえらい！ エッセイスト佐野洋子展」に合わせた資料展示を行った。(市民)
- * 本に 17 の目標ごとの表示を行い、SDGsに関する資料展示を行った。(市民)
- * 職員がテーマを設定して紹介する資料展示「広瀬図書館スタッフのMY本棚」を実施した。(広瀬)
- * 「あなたのおすすめ本を教えてください」のアンケート結果をもとに、本の展示を行い、冊子を発行した。(榴岡)
- * SDGs17 項目をテーマとした展示を行い、利用者への啓発を促した。(榴岡) **新規**
- * CSR(企業の社会貢献)関連資料コーナーを設置し、市内企業や団体等についての情報を提供した。(若林)
- * 省エネルギーや再生可能エネルギー関連の資料コーナーを常設し、利用者への啓発を行った。(太白)
- * 泉図書館開館30周年記念として、「ベストセラーでふりかえる30年」の展示を行うとともに、リストを作成・配布した。(泉) **新規**

【資料を介在とした地域社会の中での落ち着いた居場所としての機能と新たな活力を生み出す場づくり】

○感染症拡大防止策を講じたうえで、「落ち着いた居場所」や「交流の場」としての図書館をめざし、市民が「本」や「人」と出会い、豊かな学びの機会を得られるためのイベントや講座等を開催した。

- * 様々な分野の本に興味を持つきっかけ作りとして「本の福袋」を実施した。(広瀬、宮城野、榴岡、若林、泉)
- * せんだいメディアテークと共催して夏休み期間の4日間「仙台七夕まつり」をメインテーマに「とぷらすウィーク」を開催した。会場には七夕の飾りを設置し、仙台七夕に関する図書館資料、河北新報記事及び映像資料を展示した。(市民)
- * 広瀬文化センター、広瀬市民センターとの共催で、「ひろせ寄席 ～愛子で楽しむ本格落語～」(桂竹千代氏落語会)を開催した。(広瀬)
- * 学生の試験期間等で混雑しやすい土日(不定期)に、視聴覚室を学習室として開放した。(宮城野)

- *小中学生と保護者を対象に、バドミントンをテーマにした「スポーツ講演会」を開催した。(若林)
- *図書館員の手づくり講座「フラワーアレンジメントパート4」を開催した。(若林)
- *泉図書館開館30周年記念イベントとして、企画展示「泉図書館の30年」、「みんなの思い出・メッセージ&おすすめの一冊」、「サイン色紙展示」、資料展示「ベストセラーでふりかえる30年」(再掲)、「こどものほんの展示会」、関連イベント「文学講座「文都」仙台ゆかりの作家20人」、「おめでとう★シールラリー」を実施した。(泉)
- *朗読会として、「仙台在住作家の作品を朗読で楽しむ会」を行った。(泉)
- *「泉図書館くずし字講座(全2回)」を実施した。(泉) **新規**

施策 (2) 課題解決に取り組む市民を応援します

令和2年度実施状況

【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】

○全国的な図書館利用動向や本市における傾向などを踏まえた、高齢者や障害者なども含めたすべての利用者にとって、様々な課題解決に役立つ資料を幅広く収集した。

	令和元年度	令和2年度
資料受入数(冊・点)	71,632	67,394
蔵書数(冊・点)	2,092,634	2,076,226
個人利用者数(人)	1,532,976	1,308,220
個人貸出数(冊・点)	4,619,785	3,965,319

※図書館で実施した講座等の資料も、受入可能なものは閲覧できるよう整備に努めた。

【レファレンス機能の充実】

○社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を全館で提供するなど、レファレンス機能の充実に努めた。

▷令和2年度 レファレンス件数 34,959件(令和元年度 48,641件)

*国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の提供を継続して行った。(全館)

▷令和2年度 利用件数 149件(令和元年度 利用件数 158件)

*国立国会図書館のレファレンス協同データベースにレファレンス事例の登録を継続して行った。(全館)

*パスファインダー(調べ方ガイド)の更新と配置を継続して行い、レファレンスサービスの周知を図った。(全館)

▷全41タイトル(令和2年度 15タイトル新規作成)

*パスファインダーの配置に合わせ、SDGsに関する展示「パスファインダーでSDGsを調べてみよう」を行い、一層の周知を図った。(榴岡)

【課題解決型情報支援サービスの充実】

○図書館ホームページやメール配信サービスを通じて、図書館からのお知らせやイベントなどの情報発信を行った。

*ホームページ(イベント情報・新着資料・テーマ別リスト等)を随時更新し、情報提供に努めた。(全館)

*Twitterで、イベントや実施報告等の情報発信を行った。(全館)

*ホームページ「YA 中高生のページ」において、中高生の課題解決に役立つ情報を発信した。(市民)

*ホームページ「学校支援」において、「授業や資料探しに役立つリンク集」のページを作成した。(市民) **新規**

【地域の専門機関との連携】

- 地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報の発信等に努めた。
- * 博物館との連携講座「お殿さまと絵かき」を開催した。(市民)
- * 天文台と連携した子ども天文教室「リターンバック！はやぶさ2」や、地元企業と連携した講演会「花と緑から考える 暮らしのカタチと環境のコト」を開催した。(広瀬)
- * 地域課題の解決を支援する取組として、宮城総合支所との協力による資料展示「こころの声に耳をすませて～頑張りすぎていませんか？」(自殺対策強化月間の取組)を実施した。(広瀬)
- * 北部発達支援センターと連携して、発達障害への理解を深めるとともに、発達障害のある方への読書支援として、マルチメディアデイズを紹介する講座を開催した。(宮城野)
- * 「日頃の疲れ、本で癒しませんか」と題し、宮城野区役所家庭健康課と共同で、心の疲れに効く本と、疲れをケアするパンフレット類を展示した。(宮城野) **新規**
- * 歴史民俗資料館との連携事業として講座「仙台の災害～天災は忘れた頃に～」を開催した。(榴岡)
- * ハローワーク仙台と連携して、就職・就労応援講座「きいてみよう！おしごとさがしのポイント」を開催し、併せて関連書コーナーの紹介を行った。(榴岡) **新規**
- * せんだい農業園芸センターと連携した地域講座「今、見直されている伝統野菜のあれこれ」を開催した。(若林)
- * 泉区役所保健福祉センターと連携し、資料展示「心によりそいのちを支える本」(自殺対策強化月間の取組)を実施した。(泉)

施策 (3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります

令和2年度実施状況

【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】

- 商用データベースサービスを継続し、利用者に最新の情報を提供した。(全館)
 - ▷令和2年度利用者向け商用データベース 7種類、利用件数 717件(令和元年度 8種類、880件)
- 市民図書館の郷土資料コーナーに電子資料閲覧用機器を設置し、デジタル化した和書・漢籍・古地図の閲覧サービスを継続して提供した。また、ホームページのデジタルライブラリーに古文書(地図・和書)を追加掲載した。
 - ▷令和2年度掲載件数 58件(令和元年度 15件)
 - * 「情報リテラシー支援講座」を開催し、タブレット型PCを使って情報端末による課題解決を体験する機会を提供した。(若林)
- 国文学研究資料館の「新日本古典籍総合データベース」に仙台市民図書館所蔵の貴重古典籍(江戸時代以前の本)のデジタル画像 528点が公開された。 **新**

【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】

- ホームページにレファレンス事例集「本の道案内」Vol.1～Vol.6及びパスファインダー41種類を継続して掲載し、図書館活用方法の周知に努めた。
- ホームページに「本と映像で知る郷土」のページを設け、図書館資料とメディアテークのせんだい教材映像アーカイブを合わせて見られるようにし、6つのテーマ(作並こけし、堤焼き・堤人形、仙台箏笛、仙台七夕まつり、土井晩翠、支倉常長)を掲載した。 **新**

【様々なネットワークへの参加連携】

- 国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例登録を継続して行った。
- 新日本古典籍総合データベースに貴重古典籍のデジタル画像が公開された。(市民)(再掲)

施策 (4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます

令和2年度実施状況

【地域情報の蓄積・継承・発信】

○図書、逐次刊行物、行政資料のほか映像資料も含め多様な地域資料の収集に努めた。

▷令和2年度郷土資料受入数 1,909冊(令和元年度 2,169冊)

*郷土資料コーナーで「石川善助展」「真田啓介展」「郷土の星」「おてんとさん100年」「震災10年をふりかえる」などのテーマ別の展示を始めた。(市民) **新規**

*せんだいメディアテークと共催で「仙台七夕まつり」をメインテーマにした「とぶらすウィーク」を開催し、七夕まつりに関する図書や新聞記事のほか、SDGs関連資料の展示を行った。(市民)(再掲)

*地域にまつわる記憶や思い出を収集、保存、共有する「思い出アーカイブ」を継続して実施した。(広瀬)

*野球関連の図書や雑誌に加え、各種グッズや試合結果を展示し、「東北楽天イーグルス応援コーナー」を引き続き設置し、充実を図った。(宮城野)

*地元ゆかりの島崎藤村に関する「藤村コーナー」にて関連資料の展示や紹介を行った。(榴岡)

*仙台に縁のある小説家・山田野理夫の業績を顕彰する講座「山田野理夫と妖しき怪談世界」を開催した。(若林)

*各種グッズを展示して、「仙台 89ERS 応援コーナー」を引き続き設置した。(太白)

*「バガルタ仙台展示コーナー」を引き続き設置し、サッカー関連資料や試合結果を展示した。(泉)

*仙台に関する本のテーマ展示「ようこそ！仙台へ」を実施し、仙台ゆかりの作家のリスト掲示も併せて行った。(泉)

【市民と共に進める仙台に関する情報の発掘や発信】

○市民の協力を得て仙台に関する情報の収集と資料の提供に継続して努めた。

▷令和2年度寄贈による郷土資料受入数 1,211冊(令和元年度 1,281冊)

*地域資料の紹介や郷土史に関心の高い市民からの寄稿を掲載した情報紙「郷土のかぜ」を継続して発行した。(市民)

*東口ガイドボランティアと協働して「まちあるき歴史散歩 大正時代の地図とともにめぐる」を開催した。(榴岡)

*風の時編集部との協力により、仙台七夕に関する展示を開催した。(若林)

【震災関連資料の継続的収集と活用】 **重**

○東日本大震災関連資料や情報の継続的収集、3.11 震災文庫及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。

▷令和2年度末現在 3.11 震災文庫資料収集数 13,633点(令和元年度末 12,990点)

○東日本大震災被災地の図書館 8館主催によるパネル展示「10万冊が語りかける東日本大震災」を開催した。(市民)

○仙台市政だより全市ページに「3.11 震災文庫を読む」の連載を継続した。

*「仙台防災未来フォーラム 2021」において「3.11 震災文庫」に関する展示を行った。(市民)

*学校貸出パッケージ「防災(小学校高学年向け)」を再編し、小学校低学年向けと高学年向けに分けて貸出を行った。(市民)

拡

*震災から10年の節目に合わせて、広瀬文化センター・ロビーに震災翌日発行の新聞(河北新報及び全国紙東京版)と震災後に関連の特集記事を掲載した雑誌16点を展示し、震災コーナーの周知と活用を図った。(広瀬)

*震災関連事業として展示「荒浜の思い出、そして今、未来へ — 海辺の図書館写真展」とギャラリートークを開催した。(若林)

*東日本大震災から10年をテーマとした特集展示を行った。(太白、泉)

施策 (5)「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます

令和2年度実施状況

【市内大学との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

- 宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施し、館内掲示により周知を図った。
- 利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況確認を行った。
- 市内の大学等との連携による取り組みの実施に努めた。
 - * 図書館実習の学生を受け入れ、図書館学を学ぶ学生の養成に協力した。(市民、宮城野、太白、泉)
 - * 国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し、「ひろせプログラミング工作会」や「英語多読教室」を開催した。(広瀬)
 - * 尚絅学院大学(学生読み聞かせワークショップ)(広瀬、榴岡)、聖和学園短期大学(施設見学)(榴岡)、仙台大学(施設見学)(太白)、宮城教育大学(司書教諭研修の講師として職員派遣)(泉)、東北生活文化大学短期大学部(保育内容(読み聞かせ)の講師として職員派遣)(泉)との連携を行った。

施策 (1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します

令和2年度実施状況

【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】

○定員を減らし、回数を増やすなど、感染症拡大防止策を講じたうえで、各種おはなし会を継続して実施し、読み聞かせの楽しさや大切さを伝えた。

【乳幼児向けおはなし会】

▷令和2年度実施回数 117回、参加者数 1,398人(令和元年度 166回、2,915人)

【幼児向けおはなし会】(幼児～小学校低学年対象)

▷令和2年度実施回数 328回、参加者数 2,916人(令和元年度 478回、7,908人)

【親子向け実践講座「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうた」など、乳幼児及び保護者向けの行事】

▷令和2年度実施回数 15回、参加者数 196人(令和元年度 20回、341人)

○乳幼児の保護者向けブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を継続配布作成した。

▷配布先:各区役所家庭健康課・総務課、各のびすく、市立保育所、近隣の認可外保育施設や婦人科クリニック等

○書面開催となった仙台市子ども読書活動推進会議に参加し、関連部署との情報共有を図った。

*おはなし会ノートやスタンプカードを配布し、継続参加を促し、絵本等を通じた親子のふれ合いの場を提供した。(全館)

*児童館やのびすくで出張おはなし会を実施した。(市民、宮城野、若林、泉)

*ボランティア団体との協働・協力により「紙芝居おはなし会」を実施した。(市民、広瀬) **新規**

*特定非営利活動法人との連携による「えいご de おはなし会」や、乳幼児と保護者が対象の「はじめよう！ベビーサイン」を継続して実施した。(広瀬)

*「広瀬図書館まつり」で、ボランティア団体との協働によるおはなし会リレー「ひろい世界を旅しよう！」を実施した。(広瀬)

*仙台市天文台の「天文台まつり」に参加して、移動式プラネタリウムで星空を投影した会場内での「ほしぞらおはなし会」を実施した。(広瀬)

*「ぬいぐるみおとまり会」を開催し、子どもたちに図書館を身近に感じてもらえる機会を提供した。(宮城野、若林)

*幼児から小学校低学年と保護者を対象とした「てんたん人形劇公演」を開催した。(若林)

*子育て支援通信「とてとといずみ」を継続して作成し、各図書館と各のびすくで配布した。(泉)

【読書のきっかけづくりや継続していくための小学生向けの読書支援の取り組み】

○小学校1年生向け図書館利用案内「としょかんへいこう！」を作成し、学校を通して市内全児童に配布した。図書館に利用案内を持参した児童には「ようこそシール」を貼り、来館を促した。

▷令和2年度配布校数・配布枚数 133校・10,140枚(令和元年度 133校・9,135枚)

▷「ようこそシール」 令和2年度配布枚数 240枚(令和元年度 471枚)

○小学校1年生向け「りょうしゃカードひきかえけん」を作成し、学校を通して配布した。 **新**

▷令和2年度配布校数・配布枚数 133校・10,140枚 利用者カード発行数 331枚

○小学生向けにおはなし会や工作教室、1日図書館員等、子どもたちが参加できる催しを実施したほか、職場見学・体験学習等の受け入れなど、様々な読書支援サービスを行った。

*夏休み期間中に自由研究や工作、読書感想文等に関する資料を集めたコーナーをつくり、利用促進を図った。(全館)

*子ども映画上映会を開催した。(市民、広瀬、宮城野、若林)

*乳幼児から小学生向けに、年代別に3冊をテーマごとの袋に入れ、「ふゆのおたのしみぶくろ」として貸出した。(市民) **新規**

*ひろせ読書スタンプラリーや「ひろせプログラミング工作会」(再掲)、「体験！図書館員になろう！」を開催した。(広瀬)

*「おうちでこうさくきょうしつ」と題して、紙製のオリジナルアイスクリームの工作キット60シートを配布した。(宮城野) **新規**

*図書館に関するクイズを通して理解を深める「ワンだふるたんていだん！」を開催した。(榴岡)

*夏休み期間に「調べかた教室」を開催し、図書館資料のアピールと利用促進を図った。(若林)

施策 (2) 障害のある子どもの状況にあったサービスを提供します

令和2年度実施状況

【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】

- 子供図書室のユニバーサルコーナーをはじめ各館で、触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集に努めた。
- 触る絵本等の関連資料所蔵リストの各図書館での配布とホームページ等での公開を継続して行った。
- 令和2年8月からマルチメディアデイジー資料の貸出を開始し、各地区館でマルチメディアデイジー資料を閲覧できる環境を整えた。また、特別支援教育コーディネーター連絡協議会でチラシを配布し周知・広報に努めた。 **⑧**

【関係機関との連携を強化し、ニーズに応じた取り組み】

- 特別支援学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。
- 特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを、市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布するとともに、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際にも配布し、広報に努めた。
 - ▷令和2年度利用校数 21校延べ51回(小学校19校49回、中学校2校2回) (令和元年度 19校延べ45回)
 - ▷令和2年度利用点数 1,874点(小学校1,809点、中学校65点)(令和元年度 1,520点)
- 利用校に対するアンケートを実施し、ニーズに合った資料の充実を図った。
 - ▷令和2年度アンケートの送付校数 21校(令和元年度 19校)

【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】

- * せんだいメディアテークとの連携事業で、手話を使った「手ではなすおはなしの会」を継続して実施した。(市民)
- * 触る絵本等の点字の絵本を中心とした展示を行なった。(福岡)
- * 聴覚支援学校児童の施設見学を実施した。(太白)
- * 施設見学で来館した特別支援学級の子どもたちに向けておはなし会を実施した。(泉)

施策 (3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります

令和2年度実施状況

【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】 **⑨**

- 中高生のおすすめの本の投稿ボックスを全館に設置し、館内にヤングアダルト(YA)展示コーナーを設け、中高生向けの本の紹介や展示を行った。
- 中高生向けの本の紹介や紙面ビブリオバトル(来館者による投票で最多得票数を獲得した作品の展示)、ボランティア体験等の読書支援サービスを行った。
- 職場見学・体験学習等の受け入れを継続して実施し、図書館や読書への興味・関心をより深める機会を提供した。
 - * 「おたのしみBOOK」として中高生向けの本を覆面本(表紙に文章の一節を印刷したもの)にして貸出し、新たな本との出会いを演出した。(市民) **新規**
 - * YAコーナーの選書支援アンケートを実施し、中高生やその親の読書ニーズを把握するとともに、その結果を選書アドバイザー会議における選書支援の参考とした。(広瀬)
 - * 10代を対象とする読書会(テーマ:「映像化した本たち」)を開催した。(広瀬)
 - * 中高生の勉強や進路選択に役立つ本を集めた「学習応援ノ棚」を設置した。(宮城野) **新規**
 - * 中高生を対象におすすめ本の紹介カードを募集、展示し、YA世代の読書推進やYAコーナーの活用に役立てるとともに、YA資料の一部を図書館出入口付近に移動し、手に取りやすい環境にした。(若林)
 - * 世界紙芝居の日の行事にYA図書委員会が参加し、運営補助を行った。(泉)

【中高生向け広報の強化】(重)

- 図書館ホームページの「ヤングアダルト中高生のページ」において、ヤングアダルト向けイベント情報や司書及び中高生によるおすすめの本の紹介を掲載するなど、情報発信を継続的に行った。同様に Twitter でも行った。
 - *ホームページ「YAのページ」の更新を Twitter で知らせるなどSNSとホームページとの連動を図った発信を行った。(市民)
- 子供図書室で、中高生向けの図書資料や行事を紹介する「YA通信」を発行し、全市立中学校及び高等学校等に配布するなど情報発信に努めた。
- 「いじめ・命に向き合う本」のリストを更新した。全 134 冊(いじめ 83 冊、命 51 冊)。
- 「10 代のためのこころのサプリ」(「自分を守る」「ともだち・コミュニケーション」「あの人からのメッセージ」「命に向き合う」の 4 テーマに分類全 21 冊)を作成し、各館で配布するとともにホームページで公開した。**(新)**
- 中学校1年生向け図書館利用案内を作成し、市内学校を通して生徒に配布した。
 - ▷中学校1年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ！」 令和2年度配布校数・枚数 82校・10,648枚
(令和元年度 82校・10,542枚)
- 高等学校1年生向け図書館利用案内を作成し、市内全高等学校に配布した。
 - ▷高等学校1年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」 令和2年度配布校数・枚数 46校・12,550枚
(令和元年度 49校・12,200枚)
- *選書アドバイザーを中高生から募り、中高生向けブックリスト「FUKUDOKU Station(福読駅)」(冊子版・リーフレット版)を作成した。ブックリストは区内中学校及び近隣の高等学校に配布し、同世代の中高生に読書の楽しみをアピールした。(広瀬)
- *「学習応援ノ棚」を新たに設置し、Twitter を通して広報するとともに、同チラシを館内に掲示した。(宮城野)(再掲)
- *選書サポーターを中高生から募り、おすすめ本の POP を展示し、利用促進を図った。また宮城学院中学校高等学校図書室の見学を行い、同年代に向けた POP を作成し図書室内に展示した。(榴岡)
- *中高生ボランティア(泉図書館YA図書委員会)による選書や「おススメブックリスト 2020」の作成、本の展示を行った。(泉)

【中高生による図書館サポーターの育成】

- 「みんなのおススメの本を教えて！」投稿ボックスを各館に設置し、ホームページでも投稿された本の情報を紹介した。
 - ▷令和2年度掲示件数 18件(令和元年度 137件)(再掲)
- 子供図書室で実施した「泉図書館YA図書委員会」では、図書館業務の体験や、同年代に紹介したい「おススメブックリスト」の作成とともに本の展示を行うなど、様々な企画を通して図書館への理解・関心をより深める機会を提供した。
- 選書アドバイザーや選書サポーターが作成したブックリストを市内の中学校や高校に配布し、中高生の読書支援を行った。(再掲)
 - *中高生のボランティア(選書サポーター、選書アドバイザー)によるブックリスト、POP の作成を通して、同年代へのおすすめ本の紹介などの情報発信を継続的に行い、読書のきっかけづくりを促進した。(広瀬、榴岡)(再掲)

施策 (4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します

令和2年度実施状況

【子どもの学年に応じた利用しやすい形での資料の提供】

○小中学校向けにパッケージ貸出と学校貸出(授業用図書貸出・ブックトーク貸出・特別支援学校・学級専用貸出)を、資料の充実を図りながら継続して実施した。

▷令和2年度パッケージ貸出利用校 97校(令和元年度 89校) 延べ貸出回数 116回(令和元年度 143回)

▷令和2年度学校貸出校 159校 420回(令和元年度 延べ344校) 貸出冊数 17,251冊(令和元年度 16,412冊)

○「防災パッケージ上学年」「防災パッケージ下学年」「たぐいき お仕事パッケージ」「ライフデザインパッケージ」を作成し、貸出を行った。

○高等学校向け学校貸出サービス実施要領を見直し、学校貸出サービス実施要領に統一して、利便性の向上を図った。**拡**

▷令和2年度貸出利用校 3校 延べ貸出回数 3回(79冊)(令和元年度 9校 延べ10回 175冊 ※配送サービス利用校7校 延べ14回)

【学校との連携を強化し、協働による事業の拡充】

○公共図書館利用学習への支援を継続して実施した。

▷令和2年度図書館見学、調べ学習 受入校 延べ43校 2,579人(令和元年度 延べ94校)

○小中学生の職場見学・体験学習等の受け入れを継続して実施した。

▷令和2年度受入校 10校(令和元年度 42校)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中学生の職場体験学習については大幅中止

○市立小学校に除籍済資料を無償譲渡し、資料の有効活用を図った。

▷令和2年度譲渡先 21校 譲渡冊数 2,213冊(令和元年度 14校 1,469冊)

○図書館職員による小中学校へのブックトークを継続して実施し、学校を訪問した際に学校図書事務員との情報交換を行った。

▷令和2年度利用校延べ125校(令和元年度 延べ138校)

○ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトークを継続して実施した。

▷令和2年度利用校 17校(団体)40回(令和元年度 44校)

○学校図書館開放事業管理指導者研修会へ図書館職員を派遣したり、社会教育連携施設研修を実施したりした。

○市内小中学校・特別支援学校全校を対象に学校連携事業に関するアンケートを実施し、図書館事業に対する要望の把握に努めた。

*不登校児童の適応指導教室の職場体験を受け入れた。(市民、広瀬、榴岡、泉)

*高校生と高等専門学校の図書館見学や実習を受け入れた。(市民)

*短大生の図書館実習を受け入れた。(市民、宮城野、太白、泉)

○図書館での調べ学習の流れを見通すことができる「図書館で調べよう！」リーフレットを作成し、配布した。また、ホームページの学校支援ページに掲載した。

○コロナ禍で来館できなかった学校へ、図書館利用学習の代替として、出前授業や図書館紹介のプレゼンテーションデータを提供した。**新規**

施策 (5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます

令和2年度実施状況

【子供図書室を核とした地域における子ども読書活動の支援】

○図書館全館において、秋の子ども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やおすすめの本の展示等により子どもが本に親しむための機会をつくり、家庭・地域への情報提供等を行った。また、本を借りるためのしかけとして「ラッキーブックをさがそう！」を全館共通で実施した。

▷令和2年度「ラッキーブックをさがそう！」参加人数 10,199人(令和元年度 14,552人)

○児童文学者講演会を開催し、子ども読書活動を推進した。(再掲)

▷令和2年度児童文学者講演会「ようこそ『みちのく妖怪ツアー』の世界へ」参加人数 80人

(令和元年度児童文学者講演会「鈴木のりたけ氏講演会」参加人数 175人)

○子育てふれあいプラザのびすくと連携したおはなし会の実施や子育て支援通信等の情報紙配布、行事ポスターの掲示等を継続して行った。

▷令和2年度のびすくでのおはなし会実施回数 12回 244人(令和元年度 19回 612人)

○小学校低学年以下向けと小学校中学年以上向けの2種類の自書式読書通帳を継続して作成・配布した。また、通帳1冊終えるごとに認定シールを貼付し、子どもが継続して読書に親しめるよう工夫した。

▷令和2年度読書通帳配布数 14,537枚(令和元年度 13,271枚) 認定シール配布数 797枚(令和元年度 1,329枚)

○子ども読書支援パックの紙芝居パックをより利用しやすいように3セットから6セットに組み替え、「知る・見る・遊ぶわくわくパック」の一部を入れ替えた。

【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等地域施設の支援】

○児童館等の職員やボランティアを対象とした、読み聞かせやストーリーテリングなど、子どもの読書に関する研修・講座を実施した。

▷令和2年度実施件数 7件 参加者数 225人(令和元年度 9件 253人)

○「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

▷令和2年度末現在パック数 65種類 179パック(令和元年度末 62種類 173パック)

▷令和2年度貸出件数(保育所・幼稚園・児童館) 227件(令和元年度 193件)

○児童館等主催の子どもの読書に関する事業等へ図書館職員を派遣し、読書相談に応じたり、リストを配布し情報提供を行ったりした。

▷令和2年度派遣件数 1件(令和元年度 1件)

*台原児童館主催の「絵本のひろば」に職員を派遣し、読み聞かせを行った。(市民)

○保育所に対して除籍済資料の無償譲渡を行い、資料の有効活用に努めた。

▷令和2年度提供数 19件 1,169冊(令和元年度 13件 709冊)

【地域のボランティア育成と活動支援】

○「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

▷令和2年度貸出件数(ボランティア等) 116件(令和元年度 171件)

○ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会やブックトーク等を積極的に実施した。

▷令和2年度読書活動推進ボランティアの延べ人数 594人(令和元年度 936人)

○ボランティア団体の活動情報を募集し、集まった情報を館内に掲示紹介し、相互の情報共有を図った。

▷令和2年度活動情報チラシ枚数 21枚(令和元年度 20枚)

○図書館を利用する機会の少ない子どもにも、本に親しむ機会を提供できるように、家庭文庫・地域文庫の資料の充実を図るため、文庫への貸出を継続して行った。

▷令和2年度文庫登録数 21団体(令和元年度 21団体)

▷令和2年度貸出冊数 2,566冊(令和元年度 2,950冊)

○文庫活動を支援するため、文庫の会の勉強会でブックトークの手法や本の情報提供を行い、新刊案内等の広報紙を配布した。

○文庫やボランティアと連携して講演会や講座等の事業を行った。

▷令和2年度実施件数 2件 ボランティア延べ人数 18人(令和元年度 5件 116人)

○図書館で活動しているボランティア団体との連絡会等を実施し、情報交換等を行った。(市民、広瀬、宮城野、若林、泉)

【家読をすすめる取組】

○家読のコーナーを設置し「うちどくにおすすめの本」のリストを配布するとともに、掲載の本を展示した。

(市民、広瀬、榴岡、泉、宮城野(リスト配布のみ))

*「おうちで読書」を楽しめる情報をTwitterで提供した。

施策	(1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします
令和2年度実施状況	
<p>【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】 (重)</p> <p>○予約した本や視聴覚資料の受け取りや返却ができる新しい窓口として平成30年11月に開設した「中田サービスポット」の運営を継続した。</p> <p>▷令和2年度開設日数119日 利用者数(延べ)3,819人(令和元年度139日 3,007人)</p> <p>○市民センターからの要請を受けて、図書ボランティア養成講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。</p> <p>*南中山市民センター(泉)、福沢市民センター(榴岡(利用者が対象の講座))</p> <p>【分室、移動図書館サービスの再編等】</p> <p>○令和元年度に実施した利用者アンケートの結果を分析し、車両に積載する本の入れ替えや雨天時のサービス等の業務改善を行った。また、安定的に開設できるよう駐車場所の見直しを行った。</p> <p>▷市内76か所</p> <p>○従来の巡回日程表(A3版)加えて、曜日別のミニサイズ版の巡回日程表(A4版)を作成した。 (新)</p> <p>○雨天など荒天の際のサービス内容を分かりやすく案内するチラシを作成した。あわせて、チラシには新型コロナウイルス感染症の拡大防止についての記述をし、利用者へ協力を求めた。 (新)</p>	

施策	(2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします
令和2年度実施状況	
<p>【高齢者サービスの充実】</p> <p>○高齢者をはじめとする通常の本の文字が読みづらい方向けに大活字本の収集を行うとともに、集中選書会議で調整のうえ新刊を中心とした大活字本も購入し、全館で資料の充実を図った。</p> <p>▷令和2年度末大活字本受入数 300冊(令和元年度末294冊)</p> <p>▷令和2年度末大活字本蔵書数 8,470冊(令和元年度末8,748冊)</p> <p>*高齢者にも関心が高い分野をテーマとした資料展示やシニア向けの資料展示(広瀬、太白、泉)、「充実のセカンドライフコーナー」(市民)、「生き生き家庭生活応援コーナー・シニア向けおすすめ本」(若林)、「医療・介護情報コーナー」「いきいきシニア」「大活字本」(太白)、「ユニバーサルコーナー」(泉)を継続的に設置し、随時新刊本を追加してコーナーの充実を図り、高齢者に向けた資料提供に努めた。</p> <p>*自館所蔵の大活字本リストを作成し、ユニバーサルコーナーに配置した。また、配布用リストを作成し、情報の提供を行った。(泉)(再掲)</p> <p>*高齢者向け新着図書案内「シニアライフの充実は”図書館”から」を継続して発行し、情報の提供を行った。(泉)</p>	

【障害のある方へのサービスの充実】

- 心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を行った。
 - ▷令和2年度郵送貸出延利用者数延べ4,178人(令和元年度延べ4,521人)
 - ▷令和2年度郵送貸出数 10,153冊・点(令和元年度10,362冊・点)
- 視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。
 - ▷令和2年度対面朗読件数 91回(令和元年度175回) (せんだいメディアテーク分を除く)
- 全館に拡大読書器、筆談ボード等を設置するなど、障害者へ配慮した。
 - *ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作の支援を引き続き行い、仕上がった拡大写本を利用に供した。(拡大写本 1タイトル8分冊完成)(宮城野)
 - *手話のできる職員が「手話」バッジを着用するようにした。(宮城野)
- 利用者へのデージー(DAISY)資料の貸出を継続して行った。
 - *視覚障害者へのデージー資料(録音図書)を作成した(担当:宮城野)。
 - ▷令和2年度 デージー資料 429点 累計1,906点(令和元年度 デージー資料 351点 累計1,547点)
- 視覚に障害のある方、学習障害や発達障害などにより活字による読書が困難な方に利用いただけるマルチメディアデージー資料の貸出を開始した。(再掲) **④**
- 障害者サービスに配慮した行事を開催したほか、図書館ホームページ上でも障害者サービスの広報に努めた。
 - *障害のある方の就労実習の受け入れを行った。(市民、宮城野、太白、泉)
 - *自分では読書が困難な方への読書支援として朗読会を開催した。(泉)(再掲)
- 「特別支援学校・学級専用資料」を市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ貸し出した。(再掲)

【外国人が使いやすいサービスの充実】

- 選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料(一般洋書)の充実を図った。
 - ▷令和2年度外国語資料受入数 51冊(令和元年度60冊)
 - ▷令和2年度末外国語資料蔵書数 4,951冊(令和元年度末4,942冊)
- 外国語絵本や児童洋書の充実を図った。
 - ▷令和2年度外国語絵本・児童洋書受入数 298冊(令和元年度120冊)
- 外国人向け利用案内(英語・中国語・韓国語)を継続して配布するとともに、ホームページでの情報提供を行った。
- 日本語多読ブックスなど日本語を学ぶ外国人に役立つ資料約130冊を集めた「Welcome to SENDAI(仙台在住外国人支援資料コーナー)」を継続して設置した。(市民)

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた措置】 **⑤**

- 感染防止の取り組みとして、来館者へのマスク着用のお願ひ、来館者同士の距離を保てるような閲覧席の配置、OPAC等館内設備の清拭、手指消毒の徹底、カウンターへの飛沫感染防止用ツール等の設置、カウンター前の整列位置の表示、短時間利用のお願いをした。
- 各種図書館イベントについて、参加者数を限定、開催時間を短時間に制限するなどの対策を講じたうえで開催した。

施策 (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います

令和2年度実施状況

【計画的な資料の収集・保存・活用／分担収集の推進と収蔵スペースの確保】

○仙台市図書館資料収集方針に基づき、集中選書会議の中で、専門書や高額資料の購入について検討し、各館の分担収集分野に応じた配置を行った。

市民	郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料
宮城野	文学関係資料
若林	農業・園芸関係資料
太白	健康・医療関係資料
泉	児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料

○書庫内の資料の計画的な除籍により資料収蔵スペースを確保し、魅力的な書架の提供に努めた。

○除籍資料を有効活用するための市内各団体向け譲渡会を継続して開催した。

▷令和2年度(児童書)小学校、保育所等 40ヶ所 3,382冊 (令和元年度 27ヶ所 2,178冊)

令和2年度(一般書)市民センター等 5ヶ所 837冊 (令和元年度 5ヶ所 1,332冊)

施策 (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます

令和2年度実施状況

【図書館サービスの広報、図書館像の共有】

○行事開催の案内等を市政だよりやフリーペーパーなどに掲載するほか、公共施設や商業施設にも配布・掲示し、幅広い層への周知を図った。

○多様な機関や市民団体との連携、行事・事業への参加、ラジオ放送等により、図書館サービスについての情報を発信した。

* 移動図書館をPRするため動画を作成し、ユーチューブで配信した。(移動図書館) **新規**

○図書館ホームページでのイベントのお知らせやメール配信、Twitterでの発信により、周知を図った。

* 「仙台市職員のための新着図書案内」及び「仕事に役立つ！本をピックアップ」リストを市役所職員用掲示板で周知した。(市民・宮城野)

* JRや地下鉄の駅に、図書館の新刊案内やイベントポスター等を掲示し、広報に努めた。(市民、広瀬、宮城野)

○Twitterで、図書館のイベント情報やホームページの更新情報などの発信を行った。(再掲)

【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民協働による図書館づくり】

○ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取り組みを行った。

* ボランティアによるおはなし会を実施した。(全館)

* 本の修理や返却された本を書架に戻す作業を、ボランティアの協力を得て行った。(市民、広瀬、宮城野、若林、太白、泉)

* ボランティアとの協働・協力による「紙芝居おはなし会」を実施した。(市民・宮城野・太白・泉・広瀬) (再掲)

* 市民センター等に「図書ボランティアスキルアップ研修」の講師を派遣した。(榴岡、泉) (再掲)

* 「広瀬図書館まつり」で、ボランティア団体との協働によるおはなし会リレーを実施した。(広瀬) (再掲)

* 仙台音訳の会より講師を招聘し、「大人のための朗読会」を実施した。また点訳奉仕3・6会に一部配布資料の作成を依頼した。(榴岡)

* 市民団体の上映活動支援のため、図書館資料案内、講演、作品解説を行った。(若林)

○図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施した。

○読み聞かせボランティア基礎講座を修了した参加者に、子どもと本をつなぐ活動をしているボランティアの活動情報を提供した。

施策	(3) 図書館資源を適正に配分し、有効に活用します
令和2年度実施状況	
<p>【システムやサービスのあり方の見直し】</p> <p>○雑誌スポンサー制度を継続して実施した。(広瀬、宮城野、榴岡、若林、太白、泉)</p> <p style="padding-left: 20px;">▷令和2年度ステッカー 400枚、参加企業 4社(令和元年度 400枚、4社)</p> <p>【指定管理館のあり方の検討】</p> <p>○指定管理者制度導入館に対して指導・監査を実施するとともに、管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。</p> <p>○広瀬図書館の令和3年度からの第4期指定管理者の公募・選定を行い、協定書を締結した。</p>	

施策	(4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います
令和2年度実施状況	
<p>【継続した事業評価の実施／市民による評価や意見の活用】</p> <p>○仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業について点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から意見を受けて報告書としてまとめ、市民に公表した。</p> <p>○市民の意見や要望を把握し、より良いサービスが提供できる図書館経営を行うため、利用者向けアンケート調査や利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。</p> <p>○全館に意見箱を常設し、利用者の意見を聞く機会を設けるとともに、意見と回答の掲示を行った。</p> <p>○指定管理者制度導入館に対して管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。(再掲)</p> <p>○寄せられた意見、要望に応じて可能な改善を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 視聴覚資料の貸出点数を2点から3点に拡大した。(全館) 拡充 * ホームページのトップページの「重要なお知らせ」に毎月の全館共通の休館日を掲載した。 * 新聞を児童書コーナーのある2階フロアから一般向け資料のある3階フロアに移動し、閲覧しやすくした。(市民) * 利用者の利便性を向上させるため、カラーコピー機を導入するなどの改善を行った。(泉) * 令和元年度に実施した利用者アンケートの結果を分析し、業務改善を行った。(移動図書館)(再掲) * 利用者の声を聴きながら、館内用バックやタッチペンの設置、ブックカートの追加など改善を行った。 <p>○市民の図書館利用状況や図書館に期待することなどについて把握し、今後の図書館運営に生かすため、市政モニターアンケート調査および仙台市図書館全館で利用者アンケート調査を実施した。</p>	

施策 (5) 図書館職員の資質の向上に努めます

令和2年度実施状況

【出版文化の状況や利用者の動向を踏まえて選書を行える職員の養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】

- 日本図書館協会等の専門機関が実施するオンライン研修に参加した。
 - * 日本図書館協会主催の障害者サービス研修(市民) * 国立国会図書館の研修会(宮城野、泉)
 - * 全国公共図書館研究集会(泉)
 - * 公共図書館等職員研修会(市民、広瀬、榴岡、宮城野、太白、泉)
- 国立国会図書館、日本図書館協会、北日本図書館連盟等の専門機関等の実施する研修に参加した。
(各館の参加状況)
 - * 図書館地区別(北日本)研修(榴岡) * 北日本図書館連盟の研究協議会(広瀬、榴岡、泉)
 - * 文部科学省の新任図書館長研修(広瀬)
 - * ブックトーク、手あそび等をテーマとする各種の外部研修(宮城野、榴岡)
- 指定管理者主催の研修(児童書研究会、児童サービス、公共図書館のマネジメントクラス対象の研修)
(広瀬、榴岡、若林)
- 生涯学習支援センターが主催する社会教育施設職員向け各種研修(広瀬)

【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供のための職員のスキルアップ】

- 関連する各種研修に担当職員が参加し、スキルアップを図った。
 - * 地域包括支援センター職員を講師とする「認知症サポーター養成講座」・健康福祉事業団(介護研修室)主催の講座「認知症を知る」(認知症サポーター養成講座を兼ねる)に参加し、全職員が認知症サポーターの認定を受けた。(広瀬)
 - * レファレンス等に必要の情報検索のスキルアップと知識習得のため検索技術者検定3級を取得した。(若林)

◇◆◇方向性ごとの課題・改善策◆◆◇

方向性1「地域や市民に役立つ図書館」についての課題・改善策

【課題解決に即した情報提供の充実】

・持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた情報の発信拠点としての役割等を踏まえながら、図書館資源を生かした多様な連携事業の実施に取り組む。

【持続可能な図書館サービスの提供】

・新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言等、不測の事態に対応できる非来館型サービスの充実を図るため電子図書館を導入する。また、非常時の図書館サービスのあり方について検討する。

方向性2「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」についての課題・改善策

【絵本を通じたふれあいの機会づくりの研究】

・乳幼児と保護者が絵本を通じて触れ合い、0歳から読書に親しめる読書文化を育むきっかけとなる子育て支援事業の調査研究を進めるとともに、妊娠期の親に対してイベントを企画するなど積極的なアプローチを行う。

【障害のある子どもへのサービスの充実】

・特別支援学校等への貸出資料の充実やマルチメディアデジターの貸出など、障害のある子供が利用しやすい環境づくりの取り組みを継続して進め、ニーズに合った図書館サービスを提供する。

【ヤングアダルト世代主体の読書支援】

・図書館ホームページや、SNSを活用した読書支援の情報発信を継続しつつ、図書館サポーター等中高生が気軽に参加できる企画や、同世代へのおすすめの本の紹介など、ヤングアダルト世代への読書のきっかけづくりに取り組む。

方向性3「市民一人ひとりに利用しやすい図書館」についての課題・改善策

【すべての人へのサービス向上の取り組み】

・読書バリアフリー法に配慮し、障害のある方や外国人等、誰もが使いやすい図書館サービスの向上に取り組む。
・老朽化した移動図書館車について、早期に更新をした上で、安定したサービスの推進を図る。

【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための取り組み】

・新型コロナウイルス感染防止策を講じたうえで、図書館サービスの提供やイベントの開催に取り組む。

方向性4「自らの変革を進める図書館」についての課題・改善策

【ボランティア等の市民参加】

・ブックトークやおはなし会などの対象別のボランティア育成、活躍の場を提供する市民参加型への促進を図る。

【適切な図書館経営】

・利用者ニーズに応じた改善とともに、コロナ禍における図書館の適切な運営を検討する。

【図書館資源の適切な配分】

・図書館資源の適切な配分と評価を踏まえ、指定管理者の公募を行う。